

第2期土浦市自転車のまちづくり構想（案）のパブリック・コメント実施結果について

1 実施結果

募集期間	令和6年12月9日（月）～令和7年1月10日（金）
募集方法	・第2期土浦市自転車のまちづくり構想（案）を市の公式ホームページに掲載したほか、本庁舎（政策企画課及び情報公開室）、都和支所、南支所、上大津支所、新治支所、神立出張所、一中地区公民館、二中地区公民館、三中地区公民館、四中地区公民館、上大津公民館、六中地区公民館、都和公民館、新治地区公民館及びりんりんポート土浦に設置し、郵送、ファックス、電子メール、持参又は専用フォームからの送信のいずれかにより募集を行いました。 ・パブリック・コメントの意見募集については、市の公式ホームページのほか、広報つちうら、市公式 Twitter 及びメールマガジンに加えて、市公式 LINE を活用して周知を図りました。
意見提出者数	4 人
意見件数	4 件
市ホームページ閲覧数	1 5 5 件

2 提出された意見とその意見に対する考え方

No	項目・意見内容	意見に対する考え方	方針の修正内容
1	【P57】第4章 課題3について ・なぜ市民が自転車を使わないのか詳しく分析されていないように感じる。休日診療所へ子どもを連れて行くのにも自転車で1時間かかるなど、自転車の利用を諦めた経緯がある。市民が利用する施設は適切な場所にあるのか、検討願いたい。 また、歩道が広く自転車も余裕をもって通行できるはずだが、草が歩道に生い茂っていて通行を妨げているなど、よくある光景で、自転車のみならず歩行者も困っている状況である。市で対応できないのであれば、地域の自治会などに協力を依頼し、歩道の整備をする必要がある。	- 行政、医療、福祉、商業等の生活サービス施設については「土浦市立地適正化計画」に基づき、鉄道駅などの拠点を中心とした区域に誘導、集約することにより、適切な配置を図ってまいります。 - 自転車を活用した各施設への移動については、P68「3-1-②公共交通機関との連携強化」により、利便性の高い移動の実現を図ってまいります。 - 自転車の走行空間については、関係者と協議をしながら、自転車や歩行者が、安全安心に通行できる環境整備を進めてまいります。	変更なし
2	【P4】上位計画の目標1について ・道路環境を十分に整えないまま、とりあえず人だけ呼び込もうとする計画には賛成しかねます。歩道の雑草や、主要道路のハンドルが取られるほどの轍、消えていてほぼ見えないセンターライン、ツタが絡まっている道路標識など、あげたらきりが無いほどの心配があります。まずは環境をしっかり整えてもらいたい。 また、市内で自転車が絡んだ事故がどれくらい起きていて、その対策として具体的に何をしているのか伝えてもらいたい。	- 本計画では、サイクルツーリズムの推進による交流人口の増加のみならず、安心して自転車を利用いただける環境整備や、市民の皆様が日常的に自転車を利用するまちづくりの推進など、総合的に取り組んでまいります。 - 道路環境については、市民の皆様やサイクリストの方々が安心して走行できるよう、P67「2-2-③サイクリング環境の充実」にありますとおり、県や周辺市町村と連携を図り、整備を進めてまいります。 - 本市の自転車関連事故件数については、P29に記載のとおりとなっております。具体的な対策としましては、自転車	変更なし

		交通ルールの広報啓発や交通安全教室の開催を通して実施をしております。第2期計画では、引き続き、目標1「自転車事故のない安心・安全な社会の実現」達成に向け、自転車利用者への啓発を行うとともに、自動車と自転車が共存するまちの実現に向け、自動車運転者に対しても土浦警察署や、（一社）茨城県交通安全協会土浦支部等と協力を図りながら啓発に努めてまいります。	
3	・サイクリングのまちとして推しが弱いと感じる。ショップやメーカーを誘致して、遠方からでも来た甲斐があると思うようなイベントを定期的に行っていただきたい。土浦市を拠点としている団体とコラボする企画や、市の職員が率先してサイクリングツアーをコストを掛けず開催するなど、様々な方法が考えられるのではないかな。	・P73「4-2-④サイクリングイベントの開催支援」により、ショップやメーカー等が出展いただけるようなイベントの開催を支援しており、今後も様々な団体と連携して充実に努めてまいります。また、P74「4-3-③地域資源を活用した体験観光・宿泊コンテンツの充実」により、本市の地域資源を活かしたイベントを企画検討していくとともに、ツアーの造成等に取り組んで参ります。	変更なし
4	【P22】自転車の主な車種およびイメージ写真について ・「タンデム自転車」に二人乗りの三輪車を追加していただき、レンタサイクルにその自転車を導入してもらいたい。後部座席に乗ることができれば、高齢の方や、障がいのある方などもサイクリングを楽しむことができる。	・P22の「自転車の主な車種及びイメージ写真」について、本項目はあくまで主な車種を例示したものとしますので、ご理解をいただけますようお願いいたします。 しかしながら、本計画で掲げる基本理念が「すべての世代が自転車に親しみ、自転車が暮らしと地域に新しい魅力を生み出すまちづくり」となっておりますとおり、高齢の方や障がいのある方が、自転車に親しみサイクリングを楽しんでいただけるよう、P73「4-2-①レンタサイクルの拡充」において、二人乗り三輪車の導入についても検討をして参ります。	変更なし

